

Philippines Angeles University Foundation (フィリピン アンヘルズ大学)

Half & Half Program 2019 (3/2~3/17) の参加報告



H30年度も本学 PT 学科の学生 1 名が新潟医療福祉大学主催のフィリピンのアンヘルズ大学での Half & Half Program に参加しました(2019.3.2 - 3.17)。このプログラムは春休みや夏休みの 4 週間を利用し、フィリピンのアンヘルズ大学で英語の授業と病院見学、大学の授業見学などを行うプログラムですが、本年度は春のプログラムに 2 週間だけ参加させていただきました。このプログラムにはこれまで 10 名の本学学生が参加しています。滞在先は大学寮で、授業のない時間帯は大学や寮にいる学生との交流を図ります。英語力は勿論のこと、自分達で考えて行動する力を養うなど、多くのことが学べるプログラムとなっています。

* Half & Half Program に参加してみたい人、興味がある人は、PT 学科・坂本 (sakamotoy@ipu.ac.jp) にお問い合わせください。

2019 年の本学参加者の声 (PT22 期生 岡永)

研修地

AUF (Angeles University Foundation) Angeles, Pampanga, Philippines

費用

航空券: 65,000 円 (往復, 燃料サーチャージ・含)
国際送金 (宿泊・学費・食費等): 約 75,000 円
その他 (観光・お土産等): 30,000~50,000 円

Half & Half の 1 週間

月・水・金: 病院実習 (9:00-11:00) → 英語授業 (13:00-16:00)
火・木: 授業見学 (8:00-11:00) → 英語授業 (13:00-16:00)
土・日: 自由時間

参加目的

私は、日本と海外の医療の違いや学生の意識の違いなどを実際の目で見ることで、何か今後につながるものがあるのではないかと感じたこと、英語によるコミュニケーションスキルの向上を図り、様々な人と関わってその地の文化や人間性から自分に足りないものは何かを見つけることができるのではないかと思います。また、これから実習が始まる中で、積極的に行動し色々なことに挑戦する姿勢を身に付けるために参加しました。

メリット

- ・ 病院見学では現地の実習生の病院内での役割を知ると同時に日本人との積極性の違いを実感できる
- ・ 授業見学では同じ分野を学んでいる学生とコミュニケーションを図り、いい刺激を受けることができる
- ・ 英語の授業では、教室に留まらずに外へ出て実践的な英語力を身に付けられると同時に、学校内の人に積極的に話しかけるため、コミュニケーションをとることで積極性を得られる
- ・ 学生寮に滞在するため、寮に戻ってから留学生と交流し、1 日中英語漬けの毎日を送ることができる
- ・ 放課後に現地の友達と遊んで文化や人間性の違いを感じ色々な経験ができる
- ・ 休日はバンで観光スポットに行くことができる
- ・ 物価が安い
- ・ 毎日が本当に楽しい!

デメリット (?) → 米がパラパラ (ふりかけで乗り越える)



現地の実習生と (中央: 岡永)



AUF (アンヘルズ大学)



PT学科の授業参加



寮の外観



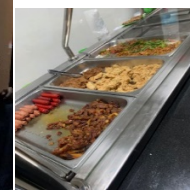
ESL class (英語授業)



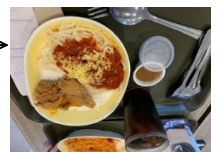
現地の学生と交流



フィリピンの伝統料理 (sisig) ↑



← 学食 →
Fast food (Jollibee)



感想

今回の研修を通して、英語によるコミュニケーションスキル・積極性・行動力の向上を感じることができました。最初は慣れない環境で不安もありましたが、何もしないのではもったいないと思い、現地の友達に何でもいいから挑戦したい、どこかに行こうと話しかけ、色々な経験をすることができました。日本との医療の違いや文化の違いなど、見る事の多くが新鮮でいい刺激になりました。現地の人はとても親切で笑顔でフレンドリーでたくさん助けられました。そのため、次は自分が日本で多くの人々の助けになれるように、まずは今学習できている環境に感謝しながら、色々なことに挑戦し、一日一日を無駄にしないように頑張ろうと思いました。

最後にこのような研修に参加できるチャンスがこの大学にはあるので、ぜひ参加していただきたいです。時間があるうちに、いろいろなことに積極的に挑戦して、視野を広げて欲しいです。

報告者: PT 22期 岡永 太郎 (参加時 PT 3 年)